

変貌の時代を歩む再生シオン会

茨城キリスト教大学短大部同窓会シオン会

会 長 根本 龍哉

21世紀に入り少子高齢化、総人口減少社会とデフレ経済により社会構造が激変し、新しい社会に転換しつつあります。先行き不透明な時代の中で我が学園も1999年から教育と財務の構造改革に取り組み、学園事務組織を統合、大学と短大の統合と教養主義教育から実践主義教育への移行、中学と高校は中高一貫教育制度を導入。これらの学園改革に伴い短期大学の全てのエネルギーは大学3学部にかき回されていくことになり、伝統ある我が短大部が発展的に解消する事は誠に寂しいことではありますが、学園の発展の為には止むを得ない事と思います。統合により拡充した大学は21世紀のこれから50年を我が学園の高等教育機関としてその使命を果たして行くこととなります。これまで短大が学園における20世紀の50有余年を日本最初の高等教育機関として社会に貢献してきたことを卒業生は誇りとすべきであります。

今、学園改革により残された18,000名余の短大卒業生にとって、同窓会は貴重な存在であり益々大切なものとしなければなりません。新役員会は二年前から自力で存続させていく為の構造改革に取り組み、その課題である「将来にわたり果たすべき役割の明確化と運営資金調達方法の確立」を図りました。これによりこれから迎える厳しい時代を生き抜き大きな役割を果たしていけるという確信を持ちました。従って会員の皆様方にも今後の活動の要となる四つの事についてご理解を頂き、積極的なご協力をお願いする次第であります。

その第一は各年度運営資金がこれまで卒業生の入会金で賄っていましたが、これからはそれが出来なくなりますので、他大学同窓会と同様に全卒業生から年度会費を徴収する事に致します。しかし、これだけでは予算の充当ができませんので、学園から運営費の一部と新聞発行等の経費支援を受けます。また園遊会の経費は父母の会から支援を頂き、活動を展開する事になります。何卒会員の皆様方には年度会費の納入を宜しくお願い致します。

第二には同窓生の親睦を深める有効な情報を載せた同窓会新聞・シオン会だよりの発行を毎年1回ないしは2回行います。

第三には近い将来今後の同窓会活動の拠点として、このキャンパスに同窓会連合の同窓会館を建築することです。大学・短大の統合と同様に大学と短大同窓会も連合させることを視野に入れるべきでしょう。

第四には創立六十年を記念して旧教職員と会員一万八千名を収めた同窓会名簿を発行し、会員相互の親睦を更に深めるようにしたいと考えています。

これからも本会は、学園の発展のために後方から支援し、同時にこの厳しい新時代を自信と誇りを持ち、互いに助け合いながら元気に生き抜く拠り所になる会で在りたいと思います。最後になりますが会員の皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念しご挨拶とします。

2005. 12. 25. シオンニュース第69号

2005 年度年定期年度幹事総会報告（2005 年度前期）

05 年 11 月 23 日、短大シオン館 310 教室に於いて顧問の滝田学部長と 42 名の役員と年度幹事が出席し、同窓会シオン会の最高決定機関である年度幹事総会を開催した。会の始めに根本会長挨拶で、「06 年には母校が発展的解消になるので、本会の存在は卒業生にとって益々重要なものとして、更に大切にしていかなければならない。会を存続させるという大きな課題は幸いにも多くの関係各位の支援のお陰で、04 年度には本会継続の見通しをつけることが出来た。今後の重要課題は、同窓会新聞シオン会だよりの発刊、同窓会館としての学園記念館復元募金の取組み、創立後 60 年を期して全卒業生 18,000 名余掲載の会員名簿制作の取組みである」ということが提示された。

その後議事へと進行、議案（1）04 年度の事業報告、決算報告が共に拍手で承認された。（2）05 年度予算においては、収入が入会金から年度会費に変わり、学園援助金、園遊会基金、バザー収益金により前年度並の予算規模を確保することができた。支出は園遊会、各年度同窓会と支部活動援助金、年度幹事総会や役員会の充実等が盛り込まれているとの説明があり、予算案並びに事業計画案が承認された。（3）学園記念館復元募金要項について説明後承認され、（4）シオンニュース 69 号編集・発行案並びに 06 年 12 月発行予定の新聞から名称を「シオン会だより」とする案について説明の後、承認された。（5）年度幹事の改選、続いて任期満了に伴う本会役員の改選を行なわれ、満場一致で承認された。新役員は次のとおりである。任期 2 年 2007.11 迄

◎ 会 長 根本龍哉(12 回卒)、

◎ 副会長 霜峯昭(2)、鍋田雄二(3)、宮本洋子 (4)、岩渕延子(12)、横須賀敏雄(兼事務局長) (13)、嘉成洋、細谷由紀子(22)、

◎ 理 事 海野士郎(2)、小室利明(3)、飯島幸子、関政夫、横山充孝(5)、近藤倬司、袖山てる子(6)、茅根弘道(7)、大内睦美、澤茂子、細谷里美、前島千恵子(8)、長山洋子(9)、小瀧罔雄(11)、野澤知行(兼事務局次長)(12)、小宅近昭(13)、酒井範雄(14)、埜久(16)、小野勝子、大島澄江(17)、高山順子、手塚雪夫(18)、武子みち子(22)、中村美幸(25)、河野香代子(26)、中村純子(29)、内田さき子(30)、渡辺典子(34)、海老沢由美子(35)、関由美子(40)、松浦恵美子(47)、柿原あゆみ(54)、小林里衣(55)、浦井直子(55)、

◎監 事 木村三郎(8)、棚辺啓一(21)、大和田洋子(23)、

◎顧 問 吉田丈夫(1)、仲川武夫(8)、滝田薫 (学部長)

その後各支部活動報告が各支部長より行われた。その他の議題で、50 年度いう長きに渡り学園で教鞭をとられたベッツ夫妻が 05 年度を以ってテキサス州アビリンに帰国されるので、花束を贈呈し感謝の集いを行ない、総会を終了した。

なお、04 年度の活動報告並びに 04 年度決算・05 年度予算書は本会再出発の原点となるものなので下記に掲載しお知らせする。また、多くの方より年度会費を納入して頂き誠に有難く、衷心よりお礼申し上げます。

この 2005 年度年定期年度幹事総会に先立ち研修会を行なった。講師は日立市役所生活環境部参事 中山俊恵氏にお願いして「吉田正記念館から」—文化力は地域力だ—という研修テーマでお話をお聞きした。安心安全で安らぎのある心豊かな地域を創造していくためにはどうしたらよいのだろうか。大きなヒントを頂いたような気がする。今後の日立の町づくりに中山参事の更なるご活躍に期待したいものである。

2004年度 事業報告書

2004年10月1日：至2005年9月30日

期 日	会 場	内 容
2004年 10月18日 (月)	大学シオン館 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会はこれまで理事会が提案していた本会存続の為のシオン基金（仮称）創設とは異なる本会支援策の決定通知を受けた。11月3日の役員会に顧問・滝田学部長にもご出席を頂き、審議の結果、役員会はこのシオン会支援策の提案を同窓会の総意としてこれを受理することに決定した。同時に今後は本会の自主性を高めることにより、その維持と活動の強化を図ることも確認を行なった。
11月3日 (水)	大学シオン館 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回定例役員会・第1回学園祭参加（バザー出店） ・ 定期年度幹事総会の日程及び研修の講師選定について ・ 幹事総会提出議案について ・ 理事会及び父母の会からのシオン会活動援助資金の受理と今後の対策について審議し決定。
11月23日 (火)	シオン館 306番教室	定期年度幹事総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2003年度事業および収支決算報告並びに監査報告 ・ 2004年度事業計画（案）および予算（案）審議 ・ 理事会及び父母の会からのシオン会活動援助資金の受理決定及び自主財源確保について審議決定。 ・ 規約（会則）改正・役員一部改選。 ・ 学園記念館寄付募集の取り組みについて 研修会 「アメリカ選挙制度について」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師 大学短期大学部学部長 滝田 薫先生 懇親会
12月25日 (土)		<ul style="list-style-type: none"> ・ シオンニュース第68号 同窓会だより・校友通信掲載 ・ 2004年度から2006年度までの年度会費納入依頼開始
2005年 2月13日 (日)	学生会館	第2回定例役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同窓会活動の再生と組織の強化、募金活動 ・ 第23回園遊会準備委員会の結成について ・ 同窓会新聞編集・発行委員会取り組み ・ 同窓会名簿管理について、各支部活動報告
3月16日 (水)	学園講堂	第55回卒業式（最終） 卒業証書台紙贈呈（一部援助）
3月20日 (日)	学生会館	第3回定例役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学園記念館復元募金活動について ・ 同窓会活動の組織強化（水戸支部の活性化）、 ・ 第23回園遊会実行委員会の結成とその宣伝活動の強化 ・ 年度会費報告
4月29日 (金)	キアラ館 学生会館	第23回園遊会（約170名の参加） <ul style="list-style-type: none"> ・ 礼拝、音楽会等 ・ 懇親パーティー ・ 抽選会等、特別案内卒業生1,2,3,4,14,15,29,38,39,46回
6月5日 (日)	学生会館	第1回 臨時役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同窓会活動の現状と課題取り組み分析 ・ 同窓会新聞編集委員会の開催、その他専門委員会報告 ・

10月27日 (木)	日立高鈴GC	第10回会長杯ゴルフコンペ（8月26日(金)台風12号により当該日に延期） 15人参加（含む女子4名）
9月25日 (日)	シオン館 学生会館	第4回定例役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第23回園遊会と24回園遊会の対策について ・ シオンニュース編集・発行委員会作業取組みについて ・ 学園記念館委員会開催について ・ シオンフェスティバル参加について ・ 短大歴史の資料蒐集対策について ・ 幹事総会日程案について ・ 学園祭参加について

- ①その他 6月5日新聞・発行委員会、9月4日編集担当者会議を開催し作成作業に入る。
- ②12月18日学園記念館復元募金委員会を天地閣において開催する。
- ③毎役員会には常時25名程の役員出席があり、新時代に相応しい同窓会活動の再構築に取り組んだ。窮地に立たされた本会ではあったが、役員が推進力となり会員の協力を得て、新時代に行き抜く素晴らしい同窓会に再生されつつある。

2005年度 事業計画書

自 2005年10月1日：至2006年9月30日

期 日	会 場	内 容
2005年 10月30日 (日)	大学シオン館 大会議室	第1回定例役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第57回学園祭に2回目の参加 (バザーと模擬店出店) ・ 幹事総会提出議題案の審議 ・ 役員及び年度幹事改選について ・ 学園記念館復元募金活動について ・ 第69号シオンニュース(最終)と第1号シオン会だよりの発行について ・ 各支部報告について ・ 研修会の実施について
11月3日 (木)	シオン館 学生玄関前	第57回シオンフェスティバル/第2回目の参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ バザー「雑貨、ケーキ、パン」と模擬店「うどん店」 (同窓生の訪店の為の宣伝も検討。) ・ 11月1日に準備の日
11月23日 (水)	シオン館 310番教室	定期年度幹事総会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2004年度事業および収支決算報告並びに監査報告 ・ 2005年度事業計画(案)および予算(案)審議 ・ 任期満了による役員改選 ・ 学園記念館寄付募集について 研修会 「吉田正記念館から」—文化力は地域力だ— 講師 日上市役所生活環境部参事 中山俊恵氏 懇親
12月20日 (土)		シオンニュース第69号 同窓会だより掲載
2006年 2月12日 (日)	学生会館	第2回定例役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 21世紀型同窓会活動の構築と組織の強化、 ・ 学園記念館募金活動の推進 ・ 第24回園遊会準備委員会の結成について
3月19日 (日)	学生会館	第3回定例役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第24回園遊会の企画立案、宣伝活動の強化
4月29日 (土)	キアラ館 学生会館	第24回園遊会(特別案内1,2,5,6,16,17,30,40,41,47,55回卒) <ul style="list-style-type: none"> ・ 礼拝、音楽会等 ・ 懇親パーティー ・ 抽選会 等
6月4日 (日)	学生会館	臨時役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同窓会活動の現状分析と課題取組の検討 ・ 同窓会新聞編集委員会の開催、その他専門委員会報告
8月25日(金)	水戸・那珂地区	第11回会長杯ゴルフコンペ
9月24日 (日)	シオン館 学生会館	第4回定例役員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 名簿管理委員会の開催 (60周年記念名簿完成版発行計画 2010年3月) ・ 幹事総会日程について ・ 総会研修の部講師選定について ・ 第58回学園祭参加について

2004年決算書および 2005年度 収支予算書

自2005年10月1日
至2006年9月30日

内訳収入の部

単位:円

科 目	2005年度予算額	2004年度決算額	増減(△減)	摘 要
会 費	629,730	792,000	△ 162,270	1,889,190円÷3
繰 越 金	59,424	87,239	△ 27,815	2004年度より
学園援助金	650,000	560,936	89,064	(2004年度科目名繰入金)
園遊会基金	600,000	300,000	300,000	父母の会賛助会費委譲金より
寄 付 金	1000	5000	△ 4,000	
雑 収 入	183,227	74,714	108,513	預金利子,バザー収益金他
合 計	2,123,381	1,819,889	303,492	

支出の部

単位:円

科 目	2005年度予算額	2004年度決算額	比較増減(△減)	摘 要
事 業 費	700,000	604,425	95,575	
園遊会費	650,000	600,000	50,000	恩師交通費等
親睦会費	10,000	4,425	5,575	交流会等助成
研修費	40,000	0	40,000	講師謝礼及び交通費
活動助成費	330,000	300,000	30,000	
クラス会費	30,000	0	30,000	5,000円×6
支部活動費	300,000	300,000	0	100,000円×3支部
会 議 費	367,000	333,052	33,948	
幹事会費	137,000	135,868	1,132	資料等
役員会費	200,000	197,184	2,816	5回実施予定
委員会費	30,000	0	30,000	
事 務 費	551,000	500,488	50,512	
事務運営費	160,000	154,350	5,650	事務局員交通費等
消耗品費	70,000	0	70,000	印刷・事務用品,ポジ・パネル作成費
通信費	50,000	46,880	3,120	はがき・切手等
名簿管理費	196,000	299,258	△ 103,258	名簿管理メンテナンス
備品費	75,000	0	75,000	
旅 費	20,000	0	20,000	
慶 弔 費	10,000	10000	0	
母校協力費	20,000	0	20,000	学園祭協賛金
事業引当金	50,000	0	50,000	
予 備 費	15,000	12,500	2,500	
繰 越 金	60,381	59,424	957	
合 計	2,123,381	1,819,889	303,492	

上記のとおり提案いたします。

2005年9月30日

シオン会 会長 根本龍哉

別 途 会 計			
	大学短大部同窓会	広報印刷費	660,000円
	2,200,000円	広報通信費	1,320,000円
		封筒等消耗費	220,000円

2005年11月23日

茨城キリスト教大学短期大学部同窓会シオン会会員の皆様

茨城キリスト教学園記念館復元実行委員長

理事長 廣瀬 正

本学短期大学部同窓会シオン会 会長 根本龍哉

学園記念館復元募金委員会 委員長 鍋田 雄二

茨城キリスト教学園記念館復元の募金趣意書

拝啓 初冬の候、茨城キリスト教大学短期大学部同窓会シオン会の会員の皆様には、益々
ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会の運営につきましては、平素より絶大なるご協力を賜り、衷心より御礼申し上げます。

さて、2002年度に茨城キリスト教学園理事会・評議員会において学園の教育遺産である木造校舎の記念館（創立当時に建てられた建築物）を解体し、後日、学園グランドデザインに基づき計画的に復元するとの決定がなされました。

この学園の決定は、学園で学んだ卒業生の願望というだけではなく、学園の歴史的教育資産を保存するという観点からも非常に貴重なものであります。

学園内の大学・短期大学・高校・中学校の同窓会としても、創立当初からの思い出の深い木造校舎やカマボコ食堂などが学園教育施設の拡充と共に取り壊されてコンクリート造りの校舎に建替えられ、学園の歴史を刻む懐かしき校舎がなくなってしまう事に寂しさを感じておりましたし、これまでの教育資産の保存という点からもこの記念館を是非とも復元させて欲しいと考えております。

学園のルーツであるこの記念館は1949（昭和24）年に、学園本部と短期大学の本館として建設され、その後高校・短大共用の時代を経て高校の校舎となり最後には中学校が使用し、その後記念館として保存されてきたものであります。しかし、この建物も2003（平成15）年度に中高一貫教育の専用校舎を建築する為に解体されました。その際に学園はそれを復元する時に使用する為に、記念館の貴重な資材を一部分保存しています。

学園内各同窓会は平成19年度に復元するという学園理事会の決定どおり実現させるように、卒業生の賛同を得て、復元建設資金の募金活動を行う事に決定いたしました。この決定に基づき、本会シオン会は役員会の下に鍋田副会長を委員長とする募金委員会を結成致しました。

この記念館が復元された後には、学園同窓会連合（仮称）を結成し、学園内の同窓生ならば誰でも何時でも使用する事のできる同窓会館の機能を有するものにして欲しいと考えています。そして今後は学園の発展と共に、同窓会の発展に大きく貢献する建物に

したいと思えます。

また、理事会ではこの新記念館は第一に学園資料展示室、第二に国際交流や同窓会のサロン兼会議室、さらに事務局機能を持たせること、第三には各同窓会と学園の情報と交流の接点にしたいとしています。建築規模は2階建、100坪で旧記念館の半分となります。

建築費は6,000万円ですが設備を含めると7,000万円になるといわれています。この建築財源を学園が5,000万円を拠出し、残り2,000万円を中学校、高校、短大、大学、大学院の同窓会から寄付金を充当し、建築することになりました。

本会は役員会及び本会学園記念館復元募金委員会を開催し、下記の募集要項を決定し、募金活動を行なうことにいたしました。何卒ご協力の程お願い申し上げます。

記

[募集要項]

I. 学園内同窓会の募金目標額2,000万円、その内短期大学部同窓会募金目標額400万円

II. 短大同窓会の募集期間 2005（H17）年11月から2007（H19）年2月まで

III. 募金金額

1回から3回卒業までの方	原則として1口5千円で6口以上 合計3万円以上をお願いします。無理ならば1口でも2口でも結構です。
4回から15回卒業までの方	原則として1口5千円で4口以上 合計2万円以上をお願いします。無理ならば1口でも2口でも結構です。
16回から20回卒業までの方	原則として1口5千円で2口以上 合計1万円以上をお願いしますが、無理ならば1口でも結構です。
21回から55回卒業までの方	原則として1口2千円で1口以上 合計2千円以上をお願いしますが、無理にならないようお願いします。

負担にならない金額で、多くの方からご寄付頂ければと考えております。

IV. 納入方法

本学園指定の銀行または日本郵政公社に振込みをお願いします。

①銀行名 常陽銀行大みか支店

口座名 茨城キリスト教学園（短大記念館口）No. 1246233。

なお、払込手数料は払い込み人の負担でお願いします。

②郵便振替口座番号 00110-9-686285

郵便振替口座名称 茨城キリスト教短期大学部同窓会シオン会

加入者払込・払出局 大甕駅前郵便局

指定の郵便振込用紙を同封しています。

以 上

2005年12月1日

茨城キリスト教大学短期大学部同窓会シオン会会員 各位

大学短期大学部同窓会シオン会
会 長 根 本 龍 哉

本会の2004から2006年度年度会費納入のお願い（再告）

拝 啓 厳寒の砌、同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にて各方面でご活躍の事と拝察いたします。

さて、昨年度の年度幹事総会において、2004年度から年度会費1,000円を纏めて3年分3,000円（2004～2006年度）納入していただくことになり、2004年12月6日付文書をもってお願い申し上げました処、2005年12月1日付現在で約650名の方が納入されました。卒業時の入会費納入がなくなり年度会費だけで本会の運営をする事になりますのでこれのご協力は本当に有難いものであります。この会費の使途につきましては、各年度の決算と年度活動報告を毎年度のシオンニュース（シオン会だより）並びに同窓会ホームページに掲載してご報告致します。また年度会費納入状況及び納入者一覧については、一定時期にホームページにて掲載致します。

本会は今後も同窓会企画及び行事が皆様の心の拠り所となるように充実させて行きたいと思っております。これまで以上のご支援ご参加をお願いする次第です。

なお、このたび別紙の郵便振替払込取扱票は、シオンニュースに同封する為に、会員全員の皆様に送付する事になりますので、既に会費納入済みで対象外となる方にまで配布する事になります。納入済みの方には本当にご迷惑をお掛けいたし誠に恐縮に存じますが何卒お許し頂きたくお願い申し上げます。 敬 具

記

納入期限 2006年1月～6月30日までとします。

（ただし、本会の2005年度は2005年10月1日から2006年9月末日迄となりますが、会計整理上、納入期限を設けましたので、ご協力お願いします。）

払込局 大甕駅前郵便局

口座番号 00180-7-630051

口座名称 茨城キリスト教大学短期大学部シオン会

指定の郵便振替払込取扱票には、なるべく卒業年度・回数、学科名もご記入の程お願い致します。

連絡先

茨城キリスト教大学短期大学部同窓会シオン会 事務局

TEL 0294-52-6899

FAX 0294-52-8899

ホームページ <http://www.icc.ac.jp/>（茨城キリスト教学園）